

ユガテの森から

NO3

発行 NPO法人 西川木楽会 埼玉県飯能市大字飯能291番地 平成27年7月1日



講話、平成27年度NPO法人西川木楽会通常総会の開催
平成27年6月14日、西武ガスホールで、吉野代表理事による講話、総会が開催されました。

第1部 吉野代表理事による講話

「真壁が似合う飯能へ（地産地生の地域づくり）」山と町を結ぶ一つの提案
をテーマとして講話をしていただきました。提案内容は、4ページをご覧ください

第2部 平成27年度NPO法人西川木楽会通常総会

3議案が提出され、すべての議案が満場一致で承認されました。

今年度は、理事・監事の改選の年にあたり、改選が行われ、NPO設立当初から理事・監事をしていただいた町利明氏が退任し、堤良隆氏が新理事として就任しました。

その後、臨時理事会が開催され、下記のとおり、役員人事が決まり、平成27年度がスタートしました。

記

代表理事 吉野 勲氏

副代表理事 小見寺公一氏、落合慎一氏、小川龍夫氏

西川木楽会に入会してはじめて西川材の実情を知り、それがきっかけで西川材を活かす木工を始めました。紙面を借りて私のライフワーク「木工」についてお話ししたいと思います。

例として製作の一端をご紹介します。

素敵なお夫妻から、ダイニング空間の関係で変わった形のテーブルの依頼がありました。さっそくお宅へ伺い、設置場所の確認と形や色など意見交換し、その後図面を引いて製作に入ります。



このような形のテーブルの場合、はじめに図面からベニヤ型を起こします。その後ジグソー(電動工具)で大まかにカットし、最後にルーター(電動工具)で型に沿って仕上げます。



左の写真は脚の取付け部分と反り止めです。

膝から天板までの空間が広く取れるようにしたくて天板に脚を直付けしました。

天板は無垢板を2枚接合して大きな一枚板にしたため、反り止めの角材と天板にそれぞれアリ加工して、反りと割れの対策をしました。

目立ちませんが治具(ジグ)作りは大事な工程です。

右の写真は4箇所の脚の取り付け穴を正確に開けているところです。



左の写真は穴に差し込む脚の一部をテーブルソー(電動機械)で丸く削るための治具です。4本の脚が正確に製作できます。

いよいよ納品、「気に入ってもらえるか、こだわりが伝わるか」いつもドキドキです。

木は地球環境に優しい循環型の素材です。昔から人と関わってきたせいでしょうか落ち着きます。先日、普段使いのコーヒーサーバの柄を自宅で朽ちた白樺の枝に付け替えました。これも木工です。これだけでいい雰囲気になります。

3ヶ月の出来事



4月11日、ユガテのサクラ



4月8日 ユガテの春を楽しむ



燻製料理はいかが



会話がはずみます



4月19日 「ユガテの春を楽しむ」



ゴールデンウィーク、臨時出店



ログテーブルを設置しました

西川木楽会3ヶ月予定表(2015-7?9月) NPO法人 西川木楽会

月 日	時 間 帯	行 事 内 容	場 所
7月25日(土)	10:00?15:00	ユガテの活動日	ユガテの森
8月2日(日)	9:15?16:00	エコツアー 「ユガテの森で森林浴とクラフト体験」 ?西川材で植木箱を作ろう?	ユガテの森
8月8日(土) ・9日(日)	10:00?16:00	みんな活サマーフェスティバル (木工作)	市民活動センター (飯能丸広7F)
8月18日(火)	18:30?21:30	理事会	富士見公民館
8月22日(土)	10:00?15:00	ユガテの活動日	ユガテの森
9月12日(土)	9:00?15:00	秩父子どもエコクラブinユガテ	ユガテの森
9月26日(土)	10:00?15:00	ユガテの活動日	ユガテの森

備考 1. 定例活動日

ユガテ：第4土曜日 任意の製材木工作業：毎週火曜日 ひまわり栽培定例会：毎週土曜日
理事会は火曜日に変更。開催日は偶数月の第3火曜日になっているので注意。

太字は臨時活動日

- 8/2エコツアー「ユガテの森で森林浴とクラフト体験」希望者申込み、参加費大人2,500円
- 森林・山村多面的機能発揮対策事業は別途予定で実施
ホームページ<https://cybozulive.com> 参照
- 時間に拘ることなくご都合の良い時間にご参加いただいても結構です

お問い合わせは事務局までお願い致します

(宮島 TEL: 090-7816-8900 E-Mail: yo47miya@yahoo.co.jp)

吉野代表理事による講話

これからの幸せな暮らしって何だろう？

経済産業省は 2030 年に向けた省エネ法で、日本の北から南まで魔法瓶のような“エコな家”をめざしています。人手の省力化とお金は東京への流れとともに。

今日の「深刻な環境問題を抱えつつも、経済成長を求め続ける」私たちの文明が直面する根本的なジレンマに対して、日本を代表する社会学者・見田宗介さんは「ならば成長をやめればいい」〈朝日新聞 2015.5.19〉と述べています。

生活の基本は衣・食・住です。

ギリシャ時代に「家」を「オイコス」といい、ここからエコノミーとエコロジーが派生したと言われていました。また、柱や梁の見える民家を描き続けた向井潤吉画伯は「民家こそが人間と自然を結ぶ重要な接点」と言われました。

住まいには、心地よさ（ほどほどの快適さ）が必要です。人間と同じ生物素材の無垢の木の生活空間には心地よさがあります。“伐ったら、植える”ことで無限の資源となる木を活かした長持ちする家には“匠の技”が欠かせません。

「地元の西川材を使い、地元で仕事ができる」ことになれば、山も町も元気になり、木の香りがする町として魅力が発信できます。

その一つの切り口として「真壁」を取り上げました。

※「真壁と暮らし部会」の定例会は事務局で毎月第三土曜日（19時から21時）に予定していますので、ご参加ください。

新入会員集紹介

佐野 光司氏

清水 洋二氏

和田 勝典氏

編集後記

梅雨空が続いています。リベンジ開催として計画したエコツアー「森の健康診断」～人工林の”今”を知る～が、またまた、中止となりました。運に見放されていますね。(宮島)